

## 授業科目

## 相談援助演習III

担当教員名 寺田 貴美代	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	○	◎	◎

## 授業の概要

ソーシャルワーク実践の基礎となる相談援助の技術を学ぶとともに、事例検討などを通して援助過程に必要な援助技術や実践方法（専門知識に裏付けられた思考や判断）、援助者としての態度などを修得する。  
相談援助に関する実習の基盤となる実践力の獲得、向上を目指す。

## 授業の目的

本授業では、2年次科目・相談援助演習Iおよび相談援助演習IIで学んだ内容を踏まえ、グループを活用したソーシャルワーク（グループワーク）ならびに福祉現場で行われるチームアプローチについて、主に小グループによる事例検討を通して実践的に学ぶことを目的とする。

## 学習目標

1. ソーシャルワーク実践の基礎となる技術を習得する。
2. ソーシャルワークの実践過程への理解を深め、専門的知識に裏付けられた展開方法を習得する。
3. ソーシャルワークの実践事例を通して、ソーシャルワーカーが備えているべき情報処理技能、コミュニケーション技能、関係形成技能などについて考える。
4. クライアントの状況に応じた支援の方法を考える。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション	自己紹介 学習計画の確認 ほか	寺田、山口、武井、山本、安部、片山、星野、波多野
2	実践ツールの活用	ジェノグラム ほか	寺田、山口、武井、山本、安部、片山、星野、波多野
3	実践ツールの活用	エコマップ、ネットワークマップ ほか	寺田、山口、武井、山本、安部、片山、星野、波多野
4	実践ツールの活用	アセスメント ほか	寺田、山口、武井、山本、安部、片山、星野、波多野
5	集団援助技術の実践（グループワーク実践）	グループワークの方法と諸過程について学ぶ	寺田、山口、武井、山本、安部、片山、星野、波多野
6	集団援助技術の実践（グループワーク実践）	グループワークの方法と諸過程について学ぶ	寺田、山口、武井、山本、安部、片山、星野、波多野
7	集団援助技術の実践（グループワーク実践）	グループワークの方法と諸過程について学ぶ	寺田、山口、武井、山本、安部、片山、星野、波多野
8	集団援助技術の実践（グループワーク実践）	グループワークの方法と諸過程について学ぶ	寺田、山口、武井、山本、安部、片山、星野、波多野
9	集団援助技術の実践（グループワーク実践）	グループワークの方法と諸過程について学ぶ	寺田、山口、武井、山本、安部、片山、星野、波多野
10	チームアプローチの実践	連携やネットワーキング カンファレンスの方法などを体験的に学ぶ	寺田、山口、武井、山本、安部、片山、星野、波多野
11	チームアプローチの実践	連携やネットワーキング カンファレンスの方法などを体験的に学ぶ	寺田、山口、武井、山本、安部、片山、星野、波多野
12	チームアプローチの実践	連携やネットワーキング カンファレンスの方法などを体験的に学ぶ	寺田、山口、武井、山本、安部、片山、星野、波多野
13	支援方法の検討	実践事例を通じて具体的な支援方法を考える	寺田、山口、武井、山本、安部、片山、星野、波多野
14	支援方法の検討	実践事例を通じて具体的な支援方法を考える	寺田、山口、武井、山本、安部、片山、星野、波多野

15	まとめ	考察 振り返り 自己課題の確認	寺田、山口、武井、山本、安部、片山、星野、波多野
----	-----	-----------------	--------------------------

### 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	社会福祉士 相談援助演習 第2版	日本社会福祉士養成校協会 監修	中央法規	2015年	2,600円+税	
その他の資料						

### 評価方法

参加態度、取り組み成果に基づき評価する。

### 履修上の留意点

- ・グループ演習が中心となるため、遅刻・無断欠席は厳禁。
- ・相談援助実習III（本実習）において、グループワークやチームアプローチが行われている場面に立ち会う機会や、個別支援計画の策定を行う機会があるため、本実習に関連する重要な科目であることを理解して授業に臨むこと。

### オフィスアワー・連絡先

【オフィスアワー】初回授業時にグループの担当教員から通知する。

【科目主担当教員研究室】研究棟2（E棟）3階 E315研究室

【科目主担当教員E-mail】terada@nuhw.ac.jp※メール送付の際は、タイトルと本文の両方に、学籍番号と名前を必ず記載すること。